

在宅医療・介護連携相談支援センターにおける相談事例

医療連携関係	<ul style="list-style-type: none"> ・病院によって退院調整のルールが異なり、どう連携すればいいのかわからない ・入院中に在宅生活をイメージできないまま患者を退院してしまうことがある ・身寄りがないなど、本人以外に急変時の意思確認ができなく困っている ・退院後の医療的な方針が定まらないまま退院するケースがある ・医療従事者と介護従事者で支援の考え方の違いを感じている ・関係機関との情報共有ができておらず、どうすればいいのかわからない ・多重課題(疾患、家族の問題、経済面など)で、どう支援すればいいかわからない ・在宅医療へ移行する際の患者や家族の意思決定が曖昧なままのことがある ・週末や業務終了間際の至急の対応を求められることがある ・退院後の方針が決まった後に連絡が来ることや、連絡が全くないことがある ・患者や家族からのハラスメントで対応を困っている ・多職種で顔合わせやお互いの業務を知る機会が欲しい
かかりつけ医・ 往診医の紹介関係	<ul style="list-style-type: none"> ・専門医(皮膚科、眼科、精神疾患、小児科など)の往診医を知りたい ・24時間対応の往診医を知りたい ・在宅医療でどこまで対応できるかわからない ・訪問診療へ移行するタイミングが難しい ・病院やクリニックの医師と連携する方法がわからない
訪問看護関係	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間対応の訪看ステーションを知りたい ・言語聴覚士が在籍している事業所を知りたい ・ステーションの規模に差があり、どこまで対応できるのかわからない ・精神科や緩和の対応をしてくれる訪看を知りたい
ケアマネジメント関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネージャーの経験値や力量の差が大きい ・病気などの理解・知識不足でアセスメントが不十分 ・介護保険非該当者(40歳未満など)への支援 ・在宅サマリーなど患者の情報共有する窓口がわからない
終末期関係	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅看取りに向けた介護職員への支援体制 ・患者や家族へ今後の方針がしっかり示されないまま退院することがある ・疼痛コントロール不良状態で退院することがある ・本人、家族の意思確認が出来ないまま対応依頼がある ・看取りができる施設が少ない ・ACPを取り組みたいが、どのようにすればいいのかわからない ・看取り依頼を受けるが、告知状況などの情報が無いまま面談に呼ばれることある
医療機関・施設関係	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急で入院できる医療機関を知りたい ・レスパイトできる医療機関を知りたい ・事業所の特色を知りたい ・がん患者や医療行為が必要な患者の利用できる施設等の情報が知りたい